

# BIM GATE リニューアル概要

## 1. 事業の目的と背景

本事業は、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会（以下「日事連」という。）が運営する BIM 情報ポータルサイト「BIM GATE」の抜本的なリニューアルを通じて、特に中小建築士事務所における BIM 初心者向けの情報アクセス環境を整備し、建築 BIM の普及・促進を図ることを目的として実施した。

BIM GATE は令和 4 年 4 月の公開以来、BIM 関連情報を一元的に集約・提供するポータルサイトとして一定の効果を挙げてきたが、情報量の急増に伴い多層化・断片化が進行し、初心者や中小事務所にとって「かえって探しにくい」状況に陥っていた。令和 5・6 年度の BIM 技法・技術研修で実施したアンケートでは、提供情報と初心者が求める情報とのミスマッチが課題として浮き彫りとなった。本事業では、こうした課題を解消し、BIM GATE を情報の集約ポータルから「活用支援プラットフォーム」へと進化させることを目指した。

## 2. 主要な実施内容

### ■ サイト構造の抜本的再設計

既存の「企業目線」のナビゲーションを「ユーザー目線」に転換し、グローバルナビゲーションを「初めての BIM」「導入ステップ」「BIM を学ぶ」「事例を見る」「お役立ち情報」の 5 カテゴリに再設計した。トップページは BIM 導入を段階的に理解できるストーリー性のある構成とし、ページ間の回遊性を高めるリンク設計を施した。既存コラムは「BIM 初心者ガイド」と「ナレッジベース」に再分類し、「よくある質問」を課題解決の入口として位置付けた。



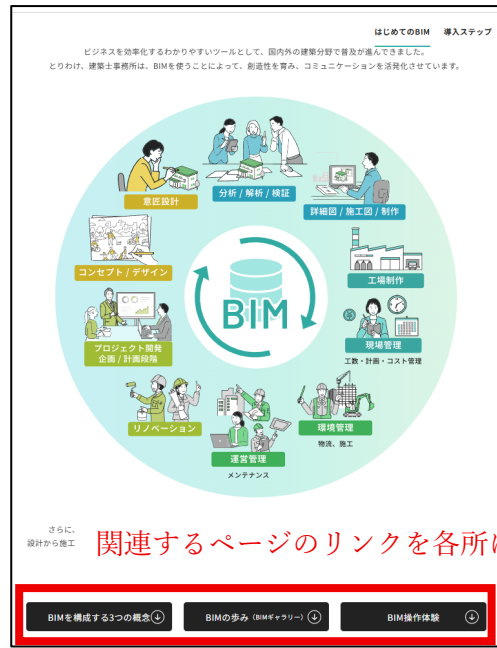
画像左：改修前 TOP ページ



画像右：改修後 TOP ページ



画像左：改修前 BIM とは？



画像右：改修後 BIM とは？

## ■ 実務に直結する新規コンテンツの開発（10種類以上）

令和5・6年度 BIM 技法・技術研修で実施したアンケートや日事連 BIM GATE 改修サブワーキンググループ（SWG）での議論を踏まえ、BIM 導入・活用の各課題に対応した新規コンテンツを開発した。主要なものとして、アンケートで収集した BIM 活用事務所の生の声を紹介する「BIM 利用者の声」、実務者座談会記事「実務者が語り合う BIM 連携の現場」、BIM ソフト（Archicad、GLOOBE、Revit、Vectorworks）のオブジェクト解説、各ベンダーや販売代理店のサポート体制を整理した「BIM サポート体制ガイド」、約 40 問の「よくある質問」、過去事例を 5 観点でキュレーションした「BIM のメリット」、国土交通省が公開している「中小事業者による BIM 導入・活用に向けたステップ案」を参考にした「導入ステップ」、「用語集」更新版、「BIM 会議体一覧」、「BIM 確認申請に関する情報や動向まとめ」等を制作した。





画像：新規コンテンツページのスクリーンショット（一部）

## ■ アンケート調査の実施

「実業務への組み込み」「システム移行」「BIM 設計工程ユースケース活用支援」に関する課題に対応するためのコンテンツ開発の基礎資料として、日事連 BIM パートナー登録事務所のうち、アンケートが送付可能な 164 事務所を対象に「BIM 設計工程ユースケース活用支援アンケート」を実施した（令和 7 年 11 月 18 日～30 日、有効回答 55 件、回収率 33.5%）。

回答者の事務所形態は総合事務所約 51%、専門事務所約 44%で、BIM 使用年数 5 年以上が約 78%と定着・活用期にあるユーザーの声が多く集まった。企画提案や基本設計で BIM 導入による時間削減効果を実感する層が存在する一方、確認申請等の工程では BIM 活用が十分に進んでいないことが判明した。制度面では、補助金・金銭的支援の拡充を求める声が多（11 件）で、発注要件への組み込みなど制度環境整備への要望が強いことが確認された。



画像：BIM 利用者の声（アンケート調査結果掲載ページ）

以上